

生物化学的測定研究会 第24回学術集会プログラム

「HACCP 義務化時代に求められる分析技術とは？」

食品衛生法が改正（公布日：平成30年6月13日）され、HACCPに沿った衛生管理が義務化された。目的は、食品の輸出振興と、東京オリンピック・パラリンピック開催までに国内の食品衛生環境を整えることにある。対象は、大手の食品メーカーから街の小売店や食堂に至るまでのすべての食品事業者である。しかし、改正法は公布から2年以内に施行されるにも関わらず、食品製造業の導入率は平成27年度で30%とまだ低水準であり、HACCPによる衛生管理の実施が喫緊の課題になっている。

このような背景から、食品衛生上の危害要因の迅速で簡便な分析技術が強く求められている。本学術集会では、その最新の情報を基にHACCP 義務化時代に求められる分析技術を議論する。

■期日：2019年（令和元年）6月14日（金） 12:40～17:35（受付 12:20～）

※ 開始時間ご注意ください。

■会場：麻布大学獣医学部棟 7 階大会議室

〒252-5201 神奈川県相模原市中央区淵野辺 1 丁目 17-71 (<https://www.azabu-u.ac.jp/access/>)

■オーガナイザー：三宅 司郎（麻布大学 生命・環境科学部 教授）

■プログラム

第一部

- 12:40-13:00 総会
- 13:00-13:45 講演1 「HACCP 制度において求められる衛生管理と迅速検査」
小西 良子（麻布大学 生命・環境科学部 教授）
- 13:45-14:30 講演2 「食品で問題となる微生物や異物の分析」
吉浪 誠（イカリ消毒株式会社 LC 環境検査センター センター長）
- 14:30-15:15 講演3 「A3 法（次世代 ATP 法）による食品施設の清浄度管理」
西本 和令（キッコーマンバイオケミファ株式会社 開発部 技術開発グループ
グループ長）

15:15-15:30 休憩

第二部

- 15:30-16:15 講演4 「食中毒原因菌の網羅的な血清型検査方法の開発」
三宅 司郎（麻布大学 生命・環境科学部 教授）
- 16:15-17:00 講演5 「ノロウイルス対策と HACCP」
野田 衛（麻布大学大学院 環境保健学研究科 客員教授）
- 17:00-17:30 パネルディスカッション
司会 小西 良子（麻布大学 生命・環境科学部 教授）
- 17:30-17:35 閉会の挨拶
上田 宏（東京工業大学 科学技術創成研究院 化学生命科学研究所 教授）
- 18:00-19:30 情報交換会

- 参加費： 会員；3,000 円（要旨集込み）、非会員；5,000 円（要旨集込み）、
学生；無料（要旨集 2,000 円）
情報交換会；5,000 円（予定：参加者のみ）

■会場案内：

【住所】〒252-5201 神奈川県相模原市中央区淵野辺 1 丁目 17-71

【アクセス】JR横浜線 矢部駅から徒歩4分



大学の最寄り駅であるJR矢部駅へは、新宿、渋谷、横浜駅などからいずれも約1時間でアクセス可能。新幹線を利用すれば新横浜駅から約30分で到着できます。



問合せ先：生物化学的測定研究会事務局（担当：中村）
〒523-8555 滋賀県近江八幡市北之庄町908番地
株式会社日吉内
TEL：0748-32-5001 FAX：0748-32-4192
E-mail：basj@hiyoshi-es.co.jp
HP：<http://www.basj.info>

参加申込

(1) FAX での申し込み

下記必要事項を記入して事務局へFAX 送付 (0748-32-4192)

(2) E-mail での申し込み

下記必要事項を記入して事務局へE-mail 送付 (basj@hiyoshi-es.co.jp)

(3) 申込時の必要事項 (記載例)

生物化学的測定研究会第24回学術集会の参加を申し込みます。

会員種別 : 会員 (個人・法人)、非会員

情報交換会参加 : 参加、不参加

氏名 :

勤務先 :

郵便番号 :

住所 :

TEL :

FAX :

E-mail :

*参加費は当日受付でお支払い下さい